

## 令和6年度 サッカー部の指導方針等について

## 1 指導体制

顧問教諭氏名		部活動指導員氏名	頻度
主顧問	平野 徹	遠藤 崇弘	毎土日
副顧問	才郷 博光	外部指導員氏名	頻度
副顧問	水谷 光汰	宮川 琉来	月1回
副顧問	中村 志津恵		

## 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会の具体的到達目標  
東京都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。

## 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に3～4回程度、競技力を高めるため練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

## 5 活動の手順

- ・ウォーミングアップ (ストレッチ・ラダー)
- ・基礎練習、対人練習、ポジション練習、ゲーム形式練習
- ・クーリングダウン (ジョギング、ストレッチ)
- ・ミーティング (振り返り、連絡事項)
- ・グラウンド整備、用具の片づけ